

2013年10月11日

産業復興支援型の被災地支援ボランティア活動（第3弾）を実施

～ ふくしまオーガニックコットンプロジェクトへの支援を通じて福島の農業再生を支援 ～

第一生命保険株式会社（社長：渡邊 光一郎）は、東日本大震災発生以降、被災地復旧に向けた職員の派遣や職員のボランティア活動参加への支援等を通じて、被災地支援に取り組んできました。2011・2012年度の2年間は、宮城県気仙沼市唐桑地区において、産業復興支援活動型の取組みとしてカキやホタテ、ワカメの養殖業の支援活動を実施しました。その後も社内イベント等で唐桑産の商品を購入する等継続した支援を行っています。

今年度は、地震・津波に加え原発事故による風評被害からの復興を目指す福島県において産業復興支援型の被災地支援ボランティア活動を実施しました。

福島県沿岸地域では風評被害に加えて津波により塩害を受けた農地も広がっており、地域経済を支えてきた農業生産高は激減しています。「ふくしまオーガニックコットンプロジェクト」は、この現状の打開に向けて立ち上がったプロジェクトで、食用ではなく塩害にも強いコットン（綿）を有機栽培で育て製品化する取組みを通じて、福島県で新たに綿農業と繊維産業を創出することを目指しています。

当社はこの趣旨に賛同し、9月20日（金）から3週に渡り、63名の職員がボランティアとして畑の草取り・コットンの収穫などの活動支援を行いました。有機栽培のため常に草取りをしながら成長しやすい環境を作ることが大切ですが、活動後は見違えるように畑が整備されました。

当社は今後もDSR（=Dai-ichi's Social Responsibility 第一生命の社会的責任）経営の一環として、「社会貢献活動の取組方針」に基づき、職員の自発的な社会参加を支援していきます。

別紙

<実施概要>

(1) 活動場所

福島県双葉郡広野町

(2) 活動内容

年間を通じて種まきから収穫、綿繰り等さまざまな作業があるが、今回はコットン(綿)を栽培している畑の草取り、支柱立て、収穫などを実施。

(3) 実施時期

①第1クール 9月20日(金)～9月21日(土)

②第2クール 9月27日(金)～9月28日(土)

③第3クール 10月4日(金)～10月5日(土)

※会社が一部経費負担を行い、平日の活動日は通常の年次有給休暇とは別の特別有給休暇扱いとする。

(4) 活動の様子



○草取りをしている様子



○支柱を直している様子

<参考>「ふくしまオーガニックコットンプロジェクト」

「いわきおてんとSUN企業組合」と「NPO法人ザ・ピープル」が主催し、2012年に開始したプロジェクト。綿を有機栽培で育て、収穫されるコットンを製品化する一連の取り組みで、地域に活気と仕事を生み出すことを目的としている。農家・市民・学校・NPO・地元企業など様々な人が参加し、昨年は市内15箇所、約1.5haの栽培地に首都圏などから約1,500名もの方々が訪れている。

以上